

東北地方 1 か月予報

(6 月 1 5 日から 7 月 1 4 日までの天候見通し)

平成 1 4 年 6 月 1 4 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

向こう 1 か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。




梅雨前線や低気圧の影響を受けやすく、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう 1 か月の気温は高いでしょう。降水量と日照時間は平年並の見込みです。

週別の気温は、1 週目、2 週目は平年並、3 ~ 4 週目は高い見込みです。




< 向こう 1 か月の気温，降水量，日照時間の各階級の確率 (%) >



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

< 気温経過の各階級の確率 (%) >



 低い  平年並  高い

< 予報の対象期間 >

1 か月 : 6 月 1 5 日 (土) ~ 7 月 1 4 日 (日)

1 週目 : 6 月 1 5 日 (土) ~ 6 月 2 1 日 (金)

2 週目 : 6 月 2 2 日 (土) ~ 6 月 2 8 日 (金)

3 ~ 4 週目 : 6 月 2 9 日 (土) ~ 7 月 1 2 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 6 月 2 1 日

3 か月予報 : 6 月 2 0 日 (木) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30年平均値（向こう１か月の平均気温，降水量，日照時間と１週目，２週目，３～４週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温 ()		
				１週目	２週目	３～４週目
大船渡	18.7	186.9	132.4	17.5	18.1	19.4
新庄	20.1	186.6	130.7	19.0	19.5	20.7
若松	21.2	166.7	138.0	20.2	20.6	21.9
深浦	18.9	134.6	166.1	17.4	18.3	19.7
青森	18.6	94.6	168.2	17.2	18.0	19.4
むつ	17.1	124.9	144.7	15.8	16.4	17.9
八戸	17.6	120.3	154.7	16.3	16.9	18.4
秋田	20.4	177.2	157.3	19.2	19.9	21.1
盛岡	19.6	148.9	131.9	18.4	18.9	20.2
宮古	17.5	145.3	127.7	16.3	16.8	18.3
酒田	20.8	186.5	152.9	19.6	20.2	21.5
山形	20.9	140.6	131.7	19.8	20.2	21.6
仙台	19.7	177.1	108.2	18.5	19.0	20.4
石巻	19.1	142.1	126.8	17.9	18.4	19.8
福島	21.2	154.5	111.7	20.1	20.4	21.9
白河	19.8	204.2	104.7	18.6	19.0	20.5
小名浜	19.7	168.2	121.8	18.5	19.1	20.3

なお、気温，降水量，日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000年のデータに基づいた向こう１か月地域平均の気温，降水量，日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差 ()	降水量平年比 (%)	日照時間平年比 (%)
東北地方	-0.5～+0.4	88～115	91～109
東北日本海側	-0.5～+0.3	83～110	92～106
東北太平洋側	-0.6～+0.5	86～110	88～113

（３）この予報期間の１週目，２週目，３～４週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	１週目	２週目	３～４週目
東北地方	-0.6～+0.5	-0.6～+0.5	-0.6～+0.5
東北日本海側	-0.6～+0.4	-0.5～+0.5	-0.5～+0.6
東北太平洋側	-0.6～+0.5	-0.6～+0.4	-0.7～+0.5

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率60％の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに33％）から大きく隔たった確率（10％や60％、70％など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 14 年 6 月 14 日 仙台管区气象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(6 月 15 日～7 月 14 日) :

梅雨前線や低気圧の影響を受けやすく、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
平均気温は高いでしょう。

1 週目(6 月 15 日～6 月 21 日) :

期間の初めは気圧の谷や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多いですが、その後は高気圧に覆われ概ね晴れるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2 週目(6 月 22 日～6 月 28 日) :

梅雨前線や低気圧の影響を受けやすく、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3～4 週目(6 月 29 日～7 月 12 日) :

梅雨前線や低気圧の影響を受けやすく、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

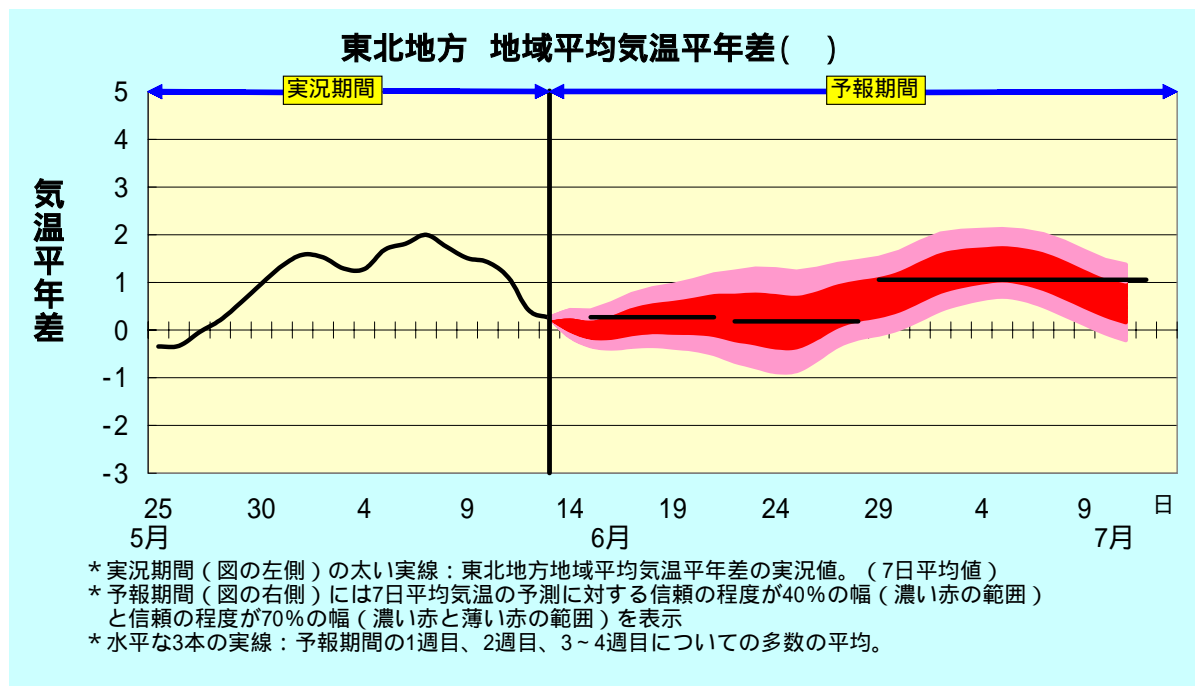
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	11.4 日	3.2 日	2.7 日	5.5 日
東北太平洋側	9.6 日	2.7 日	2.1 日	4.8 日

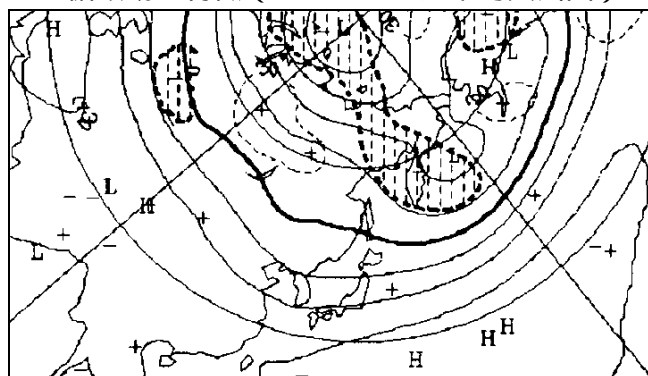
2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目は「平年並」、3～4 週目は「高い」を予測している。予報は、1 週目、2 週目、3～4 週目とも数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

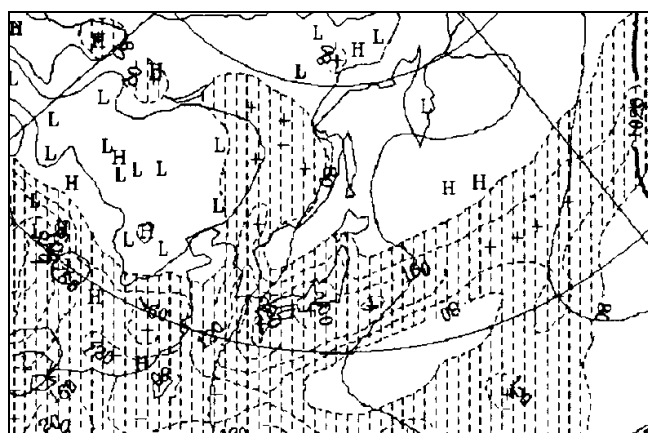


月平均の 500hPa 高度・偏差
等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差

500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、極東域は広く正偏差域。朝鮮半島付近が気圧の谷。一方、シベリア付近は気圧の尾根となる。

週別（図略）では、1 週目はカムチャッカ半島から日本付近に負偏差域が広がるが、2 週目以降、極東域全域で正偏差となる。また、2 週目に東経 90 度付近にあった気圧の尾根は、3～4 週目にはシベリア付近に進んでくる。



月平均の地上気圧と降水量
等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上

地上気圧と降水量

月平均で見ると、日本付近は低圧部で梅雨前線に対応する凝結域が帯状に広がる。一方、オホーツク海は高圧部となっている。

週別（図略）では、1 週目は、月平均より南側に帯状の凝結域がかかる。2 週目は、凝結域の広がりや月平均とほぼ同様だが、まともは弱い。3～4 週目の凝結域は月平均と同様で、西日本でまとまってくる。

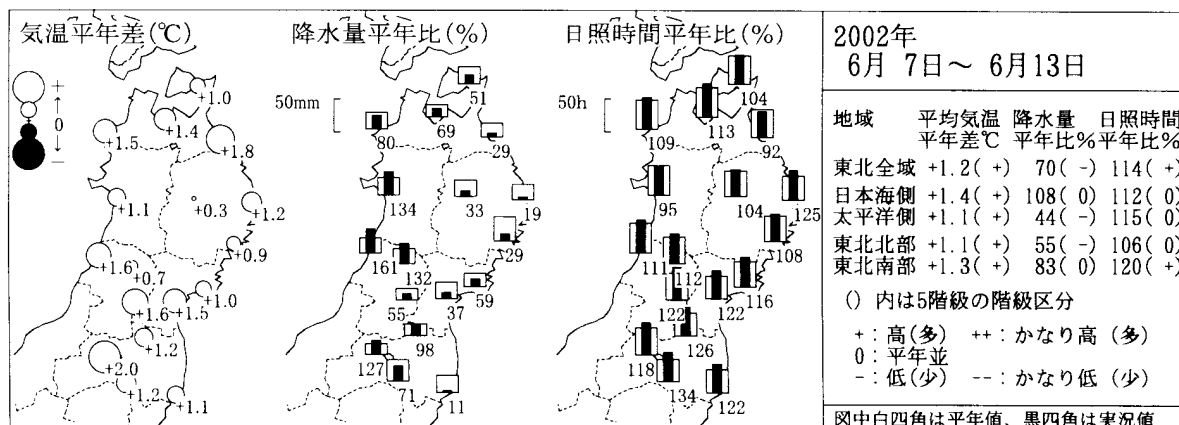
4. 最近 1 週間（6 月 7 日～6 月 13 日）の天候の経過

前半は、気圧の谷の影響で一時雨となった他は、高気圧に覆われ概ね晴れた。8日は気温が上がり、各地で真夏日となった。

11日以降は、梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。東北太平洋側では冷たい東よりの風の影響で気温が低くなり、青森県の下北、三八上北や岩手県の沿岸北部には低温注意報が発表された。

なお、東北南部と東北北部は6月11日頃に梅雨入りしたとみられる。（ただし、この梅雨入りの時期は暫定値であり、後日検証により確定されます。）

平均気温は、東北地方で平年差+1.2 と高かった。降水量は、東北日本海側で平年比108%と平年並、東北太平洋側で平年比44%と少なかった。日照時間は、東北北部で平年比106%と平年並、東北南部で平年比120%と多かった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）